

資料紹介 ムカシオオホオジロザメ

樽 創 (学芸員)

この大きな三角形の物体は、何だと思いませんか？ 実はこれ、サメの歯です。こんな大きな歯を持ったサメが今の海を泳いでいたら大変ですが、この歯は約300万年前に絶滅してしまったムカシオオホオジロザメというサメの歯です。

ムカシオオホオジロザメは約1800万年前の新生代第三紀中新世に現れました。その分布は汎世界的だったようでアメリカ、ヨーロッパ、南米、東南アジアそして日本からも化石が見つかっています。神奈川県では三浦半島や大磯地域からの産出が知られています。このムカシオオホオジロザメの体長はどのくらいでしょうか。かつては30mとも言われていましたが、今では15m前後と考えられています。

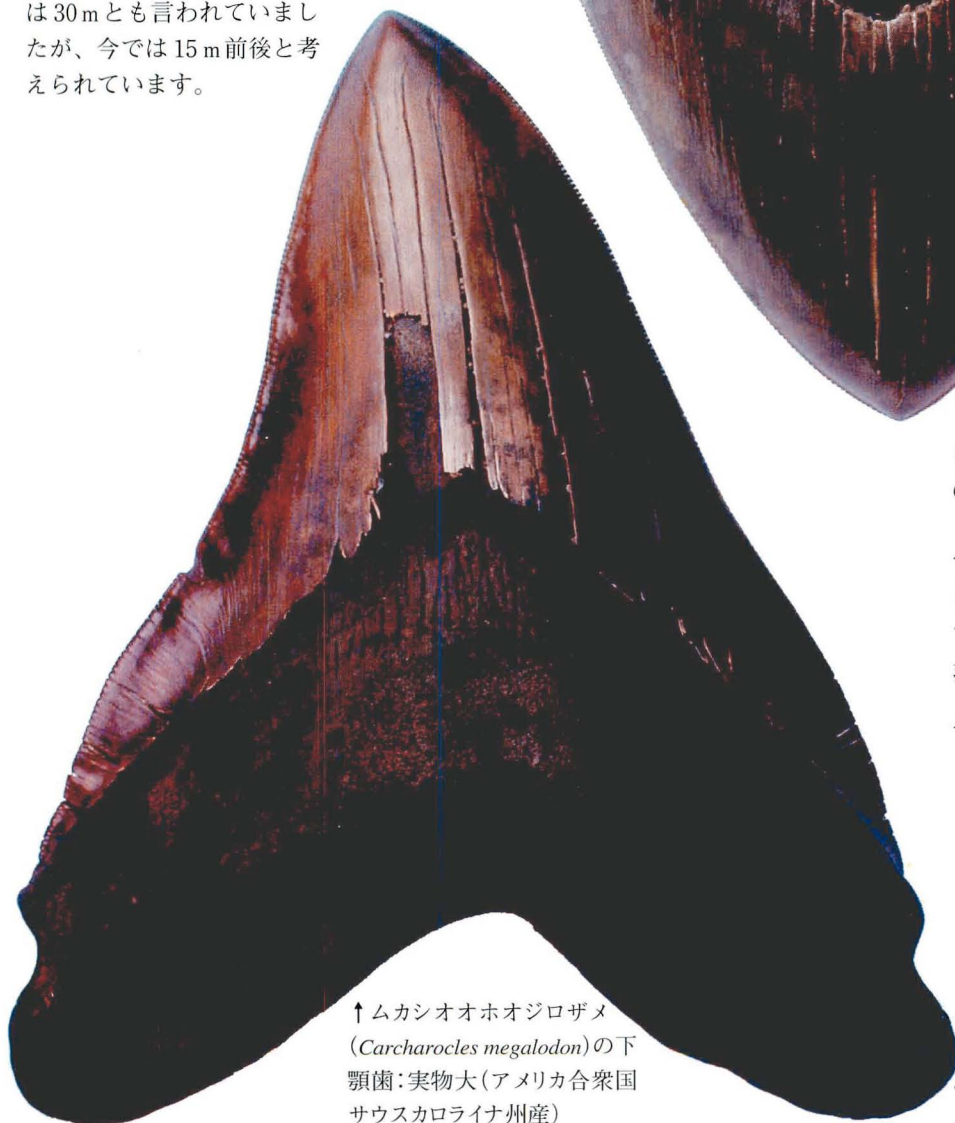
↓ムカシオオホオジロザメ
(*Carcharocles megalodon*)の
上顎歯:実物大(アメリカ合衆
国サウスカロライナ州産)



ムカシオオホオジロザメは、意外に身近な存在でした。実は昔から各地の神社やお寺に奉納されていたのです。それも「天狗の爪」として。これだけ大きな歯を持った動物は、現在の動物ではなかなかいません。昔の人は、とてもサメの歯には見えず、誰も見たことのない天狗の爪と思ったのでしょう。

当館では平成14年の秋にサメに関する特別展を計画しています。化石から現在のサメまで展示予定です。ここで紹介した標本も展示しますので、是非ご来館ください。

↑ムカシオオホオジロザメ
(*Carcharocles megalodon*)の下
顎歯:実物大(アメリカ合衆国
サウスカロライナ州産)



自然科学のとびら
第7巻第3号 (通巻第26号)
2001年9月15日発行
発行 神奈川県立生命の星・地球博物館
〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499
Tel: 0465-21-1515 Fax: 0465-23-8846
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/museum/g.html>
e-mail: fukyu@pat-net.ne.jp
発行人 青木淳一
編集 田口公則
印刷所 フルサワ印刷株式会社
自然環境保護のため再生紙を使用しています